

【学生用】

新型コロナウイルス感染症流行下における臨地実習時の健康管理と感染予防

2020.6.15 神戸女子大学看護学部 臨地実習調整委員会

新型コロナウイルス感染症の流行下において、臨地実習を行う際に、学生を介しての感染拡大防止、学生の安全を守ることに十分な対策を行う必要がある。そのため、以下のとおり、臨地実習に共通する健康管理と感染予防について定める。

1. 健康管理

健康管理においては、学生自身の健康管理だけでなく、同居する家族や近親者の状況についても意識し、各自の責任のもと実施する必要がある。また、臨地での感染予防策については、下記の行動を基本としながら、教員の指示に従う。

① 実習開始まで

- ・毎日（朝、夕1日2回）検温、風邪症状等、新型コロナウイルスに関するチェック事項がふくまれた様式（別紙）で健康チェックを実施する。
- ・上記の健康チェックで症状があった場合、2週間は自宅待機とする。
- ・アルバイトは2週間前より禁止する。また、不要な集会も自粛する。

② 実習参加の条件

- ・実習の2週間前より、健康チェックリストで症状がない。
- ・実習の2週間前より、家族や近親者に健康チェックリストにある症状がない。
- ・実習の2週間前より、アルバイトおよび不要な集会への参加を自粛している。
- ・実習参加について、保証人に説明している。
- ・実習中にグループ内で、健康チェックリストにある症状がでた場合は、接触状況を確認し、濃厚接触が疑われる場合は実習施設には行かず健康観察をする。

③ 実習中

- ・体温計を持参する。
- ・健康チェックリストにある症状出現時、体調不良時は、実習施設には行かず健康観察をする。
- ・実習時間内に体調不良があった場合は速やかに教員への報告と検温を行う。
- ・食事や睡眠が十分にとれるよう規則正しい生活の維持に努める。

④ 実習終了後

- ・実習終了から2週間は、健康チェックリストにそった健康チェックを継続し、特に健康状態の変調に気を付ける。
- ・健康チェックリストにある症状出現時は、担当教員に報告する。
- ・実習終了後2週間はアルバイトを禁止する。また、不要な集会も自粛する。

2. 感染予防

臨地実習に伴う移動や施設での行動については、多くの人と接する機会につながるため、感染の機会とならないよう、十分な予防策を行う必要がある。

【学生用】

① 実習場所への通学時の感染予防

- ・必ずマスクを着用する(不織布マスクが望ましい)。
- ・公共交通機関を利用して移動する場合には、不用意につり革や手すり等に触れない。触れた場合は、手指衛生を行う。(手指消毒薬など持参していない場合は、衛生的な手洗いを必要時実施する)
- ・周囲環境に触れた手で、顔やマスクなどを不用意に触らないよう、常に意識する。
- ・公共交通機関で座席に座る場合には、隣の人と密着することを避ける。

② 実習施設での感染予防

- ・実習場所の更衣室に到着後はすぐに手洗いをし、実習用に配布される新しいマスクに交換する。
- ・病院内では、常にソーシャルディスタンスを保ち、必要時以外の会話を慎む。
- ・休憩室で食事をする場合は、1 m以上の距離が取れるように座席を配置し、向かい合わせにならないよう、スクール形式もしくは、正面にすわらないように着席する。
- ・食事摂取時は、会話をしない(できるだけ1人で食べる)。
- ・食事摂取後は速やかにマスクを着用する。
- ・休憩室は使用前、使用後にアルコール清掃を行う。また、使用する更衣室ロッカーも実習初日使用前に清掃してから使用し、実習最終日にはアルコール清掃を行う。実習中は適宜、掃除をする(アルコールで拭く)。
- ・使用するロッカーや更衣室ドアノブ等の手が頻回に触れる箇所は、毎日アルコールで拭く。

③ 病棟など実習場所での感染予防

- ・マスクを着用し、病院スタッフ、実習指導者(看護師)、担当教員、学生間でもソーシャルディスタンスを保つ。
- ・見学実習時には、患者の前では基本的に言葉を発することは控える。
- ・患者と対話を行う場合は、原則として1 m程度の距離をとる。マスクの着用、衛生的な手洗いの徹底を行う。
- ・患者に触れる場合は手袋を着用し、患者への直接ケアは担当教員、実習指導者と十分に検討の上、指示に従う。
- ・个人防护具の着脱、スタンダードプリコーションについて、教科書等で見直し、実践できるようにしておく。
- ・手袋、フェイスシールドの着用については、担当教員の指示に従う。
- ・更衣時、特に使用後の白衣はすぐに袋に入れる等、注意を払う。

④ 実習から帰宅後の感染予防

- ・持ち帰った白衣の洗濯は通常の洗濯方法でよいが、原則、毎日洗濯する。その際、他の衣類とは別に洗濯する。
- ・帰宅後はまず手と顔を洗い、できるだけすぐに着替え、シャワーをする。
- ・移動時に着用していた上着等は、玄関先で表面のホコリをはらうなど室内へウイルスを持ち込まないように留意する。